

継続的な防災イベントの企画・運営

矢田学区連絡協議会 防災参与 椿 佳代

定期的に小学校の防災備品を実際に使用し、使いやすいように改善策を考える「防災倉庫の備蓄品を使おうデー」という防災イベントを企画し、地域防災力の定着・向上に寄与している。

第1回(R3.2)



参加していない住民にも共有！

第2回(R3.5)



特別号 矢田学区防災安心まちづくりニュース
防災倉庫の備蓄品を使おうデー **Part 1**

日時：2021年2月27日(土) 10:00~11:30 当日の時間・内容
場所：矢田小学校 防災倉庫、体育館 09:30 集合・準備
参加者：36名 10:00 緊急危険度判定説明
10:30 備蓄品を使って
11:30 終了

緊急危険度判定
防災主査 市原一さんから、避難所開設時の安全確認を行い、避難所開設をするまでの流れを伺った。その後、緊急危険度判定士の山中勝美さんから、建物が安全であることを確認するために「建物被災状況チェックシート」を使い、実際に危険建物の写真を使って説明を受けた。体育館の作られ方から、よほどのことがない限りは、避難所として運用できることがわかりました。

みんなで使った備蓄品
発電機
投光器+投光器用三脚
テレビ受像機
災害時特設公衆電話
拡声器・ハンドフォン
無線機
間仕切り
ワンタッチテント
ヘッドライト
水溜の蛇口

「テレビ受像機はアンテナ」
空気を電池を使って、1日、6時間×3日使用可能。災害の情報が得られます。災害の備蓄品が得られます。災害の備蓄品が得られます。災害の備蓄品が得られます。

「ヘッドライト」20個
実際に電池を入れて使えるようにセットするまで5分ほど時間がかかりました。備蓄品が取り出せて、物を知らずな中へ...
やはり、使えないものは新しくとは、大切に扱って使った方がいいです。おっしゃる通り、1個不具合を見つけたことがありました。ヘッドライトは、1個は行く時だけ、両手を握りながら大活躍！

「発電機と防災袋」
電気が使えなくなると、一番の心配は、照明です。発電機もセットして使えました！

「ヘッドライト」
「発電機と防災袋」
「テレビ受像機はアンテナ」
「拡声器」
「ハンドフォン」
「ワンタッチテント」
「無線機」
「間仕切り」
「災害時特設公衆電話」
「拡声器・ハンドフォン」
「無線機」
「間仕切り」
「ワンタッチテント」
「ヘッドライト」
「水溜の蛇口」

次回 **Part 2、3**
5月29日、8月21日
いずれも土曜日
ぜひ、参加してください！

親しみやすい文章で学区の回覧板に掲載

(掲載内容)

- ・ イベントの流れ
- ・ 物資の紹介
- ・ 使用後の反省点
- ・ 次回参加呼びかけ

地域防災力向上への協力

愛知学院大学

- ▶ 平成25年11月に愛知学院大学と北区役所の連携に関する協定を締結。避難行動計画の策定や、地区防災カルテの作成などの様々な事業に関して、検討環境の提供や学生や教員の参加を実施
- ▶ 学生消防団が防災訓練へ参加する等地域防災力向上のための活動に積極的に協力している

活動の様子



📷 住民や学生等が参加するワークショップの様子



📷 名城公園キャンパスでの住民参加訓練の様子



防災講演会の開催と学区まるごと安否確認訓練の実施

白鳥学区連絡協議会

- ▶ 平成28年度から毎年継続して「防災講演会」を開催し、毎回200名を超える地域住民が参加している。また、講演会で学んだ内容を実際に地域防災活動に活用している。
- ▶ 令和2年度に、学区の全世帯を対象とした「白鳥学区まるごと安否確認訓練」を実施した。これをきっかけに熱田区全体での安否確認の機運が高まり、次年度には熱田区内の全世帯を対象とした「熱田区まるごと安否確認訓練」を実施した。



白鳥学区まるごと安否確認訓練



町内会役員により安否確認状況を把握



町内会単位で安否確認情報を集約



当日中に学区全体の情報を集約し、
報告会を開催

コロナ禍でも必要な防災活動を！

西福田学区連絡協議会

- ▶ コロナ禍の初期段階から、災害時における在宅避難の勧奨を学区広報誌「ふれあい」により独自に実施
- ▶ 学区全世帯を対象に巨大地震発生時の備え等に関するアンケートを行い（回収率84%）、学区の課題を明確化したうえで、周知啓発を実施
- ▶ 災害時道路冠水や湛水においても円滑に物資運搬を可能にするため、水陸両用の台車「水陸丸」を制作

活動の様子



水陸両用台車「水陸丸」

学区広報誌「ふれあい」

第338号 令和2年 5月	西福田学区だより ふれあい	西福田地域福祉推進協議会 西福田コミュニティセンター運営委員会 港区福屋二丁目103 ☎ 052-302-0211
どうなる災害時の避難所は？ 新型コロナウイルス感染拡大防止		

令和2年度西福田学区自主防災訓練『巨大地震発生時の初動アンケート』集計結果

学区の皆様には1月23日の自主防災訓練(安否確認訓練)に合わせて「巨大地震発生直後の住民動向アンケート」調査を実施し、全体の8割以上の世帯からの回答を頂き、厚く御礼申し上げます。アンケート実施の3週間後の2月13日には、西福田学区の訓練で想定している震度6強の地震が東北地方であり、大きな被害が発生しています。

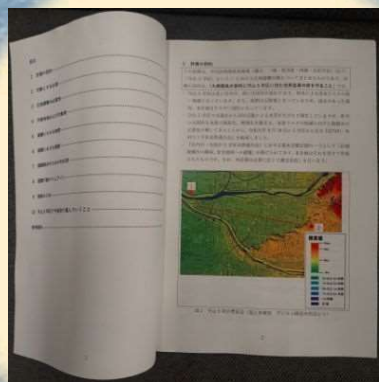


令和3年2月13日23:07
東北地方で震度6強の地震発生
震源地:福島沖約45Km M7.3

寝室では、布団の上に家具が倒れると、
布団によって体が固定され脱出が困難
になります。

庄内川・矢田川5学区水防連合会の 広域避難計画策定

- ▶ 庄内川・矢田川の氾濫時に深刻な浸水被害を受ける守山区西部5学区（瀬古学区・二城学区・鳥羽見学区・西城学区・白沢学区）で連合会を結成
- ▶ 区外も含めて浸水区域外へ避難を行う広域避難計画を令和2年度に策定



📷 策定した広域避難計画

庄内川

瀬古学区

白沢学区

西城学区

二城学区

鳥羽見学区

矢田川



📷 計画策定会議の様子